

越前市観光振興プラン 令和5年度～令和9年度 【概要版】 (案)

観光をとりまく概況

◆世界の潮流は、観光を通じた地域の「持続可能性」への奇与

観光振興

受入地域の文化や価値観の尊重

雇用の安定、収入獲得の機会増

◆国内旅行者は減少、「旅行するならお金をかける」傾向

観光地競争の激化
(旅行するならお金をかけるだけの価値あるところへ)

観光地としては
選ばれるだけの
強い価値を示すことが必要

越前市の観光における現状と課題

◆認知度は低く、日帰り客がメインで観光消費額は小さい
◆新幹線駅開業等のアクセス向上で誘客可能性が増大

交通網の整備

北陸新幹線の2024年春 金沢～敦賀開業、中部縦貫自動車道の2026年春に全線開通により、首都圏や中部圏とのアクセスが大きく向上します。

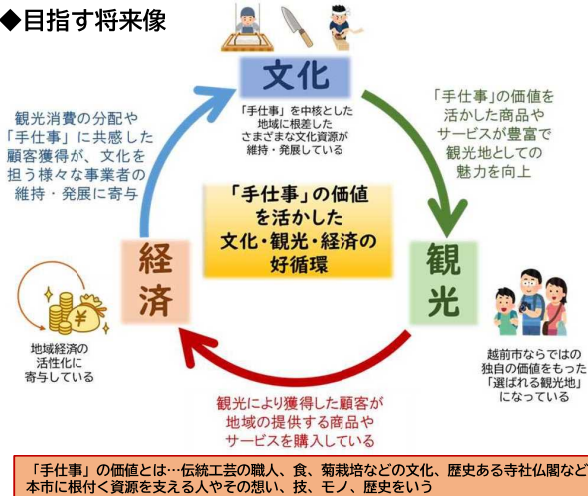


◆伝統産業をはじめ、地域特有の資源が豊富

産業	独自の価値ある「伝統産業」など (越前和紙・越前打刃物・越前筆筥)
歴史文化	紫式部、寺社(大塩八幡宮、大瀧神社などの国重要文化財)など
自然景観	コウノトリ、田園風景、豊かな水など
まちなみ	今立五箇エリア、武生エリア(寺町通り、タンス町通り、蔵の辻)など
食	越前おろしそば、中華そば・ボルガライス、料亭文化など

越前市の観光が目指す方向性

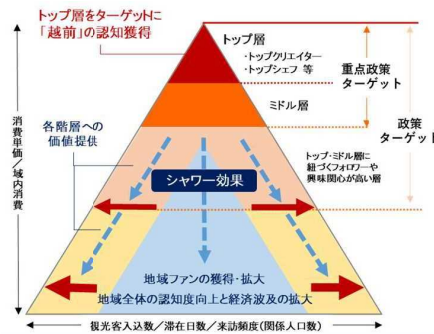
◆目指す将来像



地域の魅力を向上させ、定住促進や地域への誇りを醸成(地域の持続可能性へ寄与)

◆将来像実現のための戦略

①価値に共感するターゲット層へ売込む

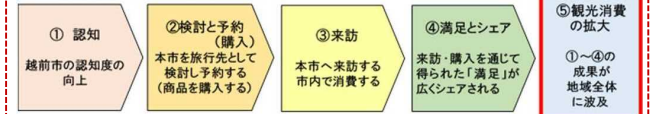


②「越前」をキーワードに認知度向上と誘客を

③高付加価値化を通じ消費拡大と経済効果へ

◆目標：本市の認知度向上から繋がる観光消費額の拡大

>認知から消費拡大までのフェーズ



>各フェーズごとの成果指標

	成果指標	基準値(R4)	最終目標(R9)
①認知	Webアンケートによる認知度	10%	20%
②検討と予約	OTA登録事業者数	9件	20件
③来訪	観光客入込数	3,086千人(R元年)	3,500千人
	県外客比率	32.5%	40%
④満足とシェア	宿泊者数	115千人	150千人
	越前市関連ワードSNS投稿数	初年度実数値	前年比5%増/毎年
⑤観光消費の拡大	1人あたり市内観光消費額	飲食:3,106円	飲食:4,000円
		買い物:2,838円	買い物:4,000円
		宿泊:4,266円	宿泊:5,000円
		体験/入場料:2,271円	体験/入場料:2,500円

展開する施策

施策	1)「手仕事」を活かした認知度向上と消費拡大	2)地域資源を活かした観光の魅力向上	3)来訪客の受入環境整備	4)ウォーカブルなまちづくりの推進	5)広域視点での観光推進
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 「手仕事」の価値の認知拡大に向けたプロモーション 「手仕事」の商品・サービス販売の強化 インバウンド観光の推進 本格的な体験コンテンツの開発、磨き上げ 	<ul style="list-style-type: none"> 紫式部、寺社、万葉など歴史文化資源の活用 三大グルメなど「食」の資源を活かした企画開発 たけふ菊人形等の大規模イベントによる誘客 フィルムコミッションの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 新幹線駅周辺を中心とした情報案内の拡充 DXを通じた情報発信力の強化 観光二次交通の充実 宿泊施設の誘致・拡充 観光ガイド機能の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 観光サイン整備など、まち歩きインフラ整備 地域資源を活かした、まち歩きコンテンツの開発 	<ul style="list-style-type: none"> 「越前」をキーワードとした広域プロモーション 丹南地域での広域連携 新幹線沿線都市と連携した誘客促進 ふるさと納税の活用

推進体制

市が計画を管理、観光協会、民間事業者、市民がそれぞれの役割を担いながら連携し、一体的に取り組むことが重要であることから、体制の強化を図る

